

あ	
ICT	Information and Communication Technology の略。情報通信技術からその応用利用場面まで広く使用され、コンピューターやインターネットの進化と広がり、工学的技術から企業経営・人文・社会科学、コミュニケーションまでその応用範囲を広げている技術・手法の総称をいう。
EHP	空調設備のうち電動機駆動式のアエアコン「電気モータヒートポンプ」のこと。電気モーターを使用してコンプレッサを動かし、冷媒を循環させて気化と液化を繰り返すことで冷暖房を行う。
イエナプラン教育	ドイツのイエナ大学の教育学教授が始めた学校教育。オランダで普及しており、子ども一人ひとりの個性を尊重しながら自立と共生を学ぶ。その特徴は、次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級が、異なる年齢の子どもたちで編成される。</li> <li>・「対話」「遊び」「仕事（学習）」「催し（行事や祝い）」の4つの活動を循環的に行う。</li> <li>・教室を「リビングルーム」として捉え、安心して過ごせる環境づくりを行う。</li> </ul>
維持管理	建物や設備の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けるため、建物や設備の点検・診断を行い、必要に応じて建物の改修や設備の更新を行うこと。
インフラ	インフラストラクチャーの略で、都市活動を支える基盤的構造物。具体的には、鉄道、幹線道路、下水道、エネルギー、情報の供給処理ネットワークなどがこれに該当する。
インフラ長寿命化基本計画	「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」が平成25年11月に策定した計画で、国民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るとともに、維持管理・更新に係る産業の競争力を確保するための方向性を示すもの。国や地方公共団体、その他民間企業等が管理するあらゆるインフラを対象としている。
LED	Light Emitting Diode の略で、発光ダイオードと呼ばれる半導体のこと。白熱電球と比較して寿命がとて長く、省エネルギーであるため、多用途に利用されている。

か	
改修	経年劣化した建物の部分または全体の原状回復を図る工事や、建物の機能・性能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。
改築	老朽化により構造上危険な状態にあたり、教育上、著しく不適当な状態にあたりする既存の建物を「建替える」こと。
外部開口部	採光、換気、通行などを目的とした建物の外気に面する開口部のこと。窓や扉等の外部建具や換気口となっていることが多い。
躯体	建物の柱、梁、壁、基礎等の構造耐力上主要な部分のこと。
グラウンド不陸調整	グラウンドの凹凸を修正すること。







クラック	建物の外壁等に見られるひび割れのこと。
コア抜き	床や壁に円筒形の穴を開け、コンクリートコアを採取すること。採取された円柱型のコアを用いてコンクリート中性化試験やコンクリート圧縮強度試験等を行う。採取した箇所は修復を行う。
コンクリート圧縮強度	コンクリートがどれくらいの重さに耐えられるかを示す。13.5N/mm <sup>2</sup> は1cm <sup>2</sup> 当たり約135kgに耐えられる。
コンクリート中性化	経年によりコンクリート内部のアルカリ成分が失われることをいい、中性化の進む速さは時間の平方根に比例することが知られている。鉄筋コンクリート造建物等でコンクリートの中性化が進行すると内部の鉄筋がさびやすい状況になる。

## さ

GHP	空調設備のうちガスエンジン駆動式のエアコン「ガスエンジンヒートポンプ」のこと。ガスエンジンで動かすコンプレッサで冷媒を循環させて気化と液化を繰り返すことで冷暖房を行う。
仕口	柱と梁のように、方向の異なる2つ以上の部材を接合したり、交差させること。またはその接合箇所のこと。
事後保全	老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う、事後的な保全のこと。
修繕	経年劣化した建物の部分を、既存のものと概ね同じ位置に概ね同じ材料、形状、寸法を用いて原状回復を図ること。
受変電設備	電力会社の変電所から供給される高電圧の電気を、学校等の建物で使用できる低い電圧に変圧するための設備であり、変圧器や配電盤等を一括して金属製の箱内に収めたもの。

## た

耐震化	建物が地震で倒壊しないよう補強すること。
耐震基準	一定の強さの地震が起きても倒壊または損壊しない建築物が建てられるよう、建築基準法が定めている基準のこと。1981年（昭和56年）6月1日に導入された現行の耐震基準を新耐震基準といい、それ以前に用いられていた耐震基準を旧耐震基準という。
耐震診断	建築士などの専門家が、既存の建物が地震に対して安全であるか否かを調査して判断すること。
長寿命化	建物の構造体の耐用年数、いわゆる建物本来の寿命まで建物の物理的な性能をできる限り健全に維持し、使い続けようという考えに立つこと。
長寿命化改修	老朽化した建物について、物理的な不具合を直し建物の耐久性を高めることに加え、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる改修を行うこと。
鉄筋かぶり厚さ	鉄筋コンクリート造建物のコンクリートの表面から鉄筋の表面までの最小距離のこと。
鉄筋コンクリート造（RC造）	主に柱や梁、床・壁が鉄筋とコンクリートで構成されている建物または工法のこと。

鉄筋コンクリートの爆裂	建物のひび割れ等から雨水や炭酸ガスが躯体内に浸入してコンクリート中性化が進み、躯体内の鉄筋にさびが発生することにより、鉄筋の体積が膨張し鉄筋周辺のコンクリートが押し出された状態のこと。																																			
鉄筋腐食状況	<p>鉄筋コンクリート造建物で、コンクリートの中性化が進むと、鉄筋周囲のコンクリートが中性になり、鉄筋の腐食が始まる。劣化の程度は表1の4段階に大まかに分けられ、それぞれの段階での鉄筋の腐食は表2のような状態となる。</p> <p>表1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">劣化度の判定</th> <th colspan="2">評価基準</th> </tr> <tr> <th>外観の劣化症状</th> <th>鉄筋の腐食状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健全</td> <td>めだった劣化症状はない</td> <td>鉄筋の腐食はグレードⅡ以下</td> </tr> <tr> <td>軽度</td> <td>乾燥収縮等による幅0.3 mm未満のひび割れが認められる（腐食ひび割れはない）</td> <td>腐食グレードⅢの鉄筋がある</td> </tr> <tr> <td>中度</td> <td>鉄筋腐食による幅0.5 mm未満のひび割れが認められる（腐食ひび割れはない）</td> <td>腐食グレードⅣの鉄筋がある</td> </tr> <tr> <td>重度</td> <td>鉄筋腐食による幅0.5 mm以上のひび割れ、浮き、鉄筋の露出などが認められる</td> <td>腐食グレードⅤの鉄筋がある、または、大多数の鉄筋がⅣ</td> </tr> </tbody> </table> <p>表2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>腐食度</th> <th colspan="2">腐食状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I</td> <td></td> <td>腐食がなく、黒皮の状態</td> </tr> <tr> <td>II</td> <td></td> <td>表面にわずかな点さびが生じている</td> </tr> <tr> <td>III</td> <td></td> <td>表面に薄いさびがひろがっており、コンクリートにさびが付着している</td> </tr> <tr> <td>IV</td> <td></td> <td>やや厚みのある膨張性のさびが生じているが、断面欠損は比較的少ない</td> </tr> <tr> <td>V</td> <td></td> <td>鉄筋全体にわたって著しい膨張性のさびが生じており、断面欠損がある</td> </tr> </tbody> </table> <p>（文部科学省「学校施設の長寿命化改修の手引」より）</p>	劣化度の判定	評価基準		外観の劣化症状	鉄筋の腐食状況	健全	めだった劣化症状はない	鉄筋の腐食はグレードⅡ以下	軽度	乾燥収縮等による幅0.3 mm未満のひび割れが認められる（腐食ひび割れはない）	腐食グレードⅢの鉄筋がある	中度	鉄筋腐食による幅0.5 mm未満のひび割れが認められる（腐食ひび割れはない）	腐食グレードⅣの鉄筋がある	重度	鉄筋腐食による幅0.5 mm以上のひび割れ、浮き、鉄筋の露出などが認められる	腐食グレードⅤの鉄筋がある、または、大多数の鉄筋がⅣ	腐食度	腐食状態		I		腐食がなく、黒皮の状態	II		表面にわずかな点さびが生じている	III		表面に薄いさびがひろがっており、コンクリートにさびが付着している	IV		やや厚みのある膨張性のさびが生じているが、断面欠損は比較的少ない	V		鉄筋全体にわたって著しい膨張性のさびが生じており、断面欠損がある
劣化度の判定	評価基準																																			
	外観の劣化症状	鉄筋の腐食状況																																		
健全	めだった劣化症状はない	鉄筋の腐食はグレードⅡ以下																																		
軽度	乾燥収縮等による幅0.3 mm未満のひび割れが認められる（腐食ひび割れはない）	腐食グレードⅢの鉄筋がある																																		
中度	鉄筋腐食による幅0.5 mm未満のひび割れが認められる（腐食ひび割れはない）	腐食グレードⅣの鉄筋がある																																		
重度	鉄筋腐食による幅0.5 mm以上のひび割れ、浮き、鉄筋の露出などが認められる	腐食グレードⅤの鉄筋がある、または、大多数の鉄筋がⅣ																																		
腐食度	腐食状態																																			
I		腐食がなく、黒皮の状態																																		
II		表面にわずかな点さびが生じている																																		
III		表面に薄いさびがひろがっており、コンクリートにさびが付着している																																		
IV		やや厚みのある膨張性のさびが生じているが、断面欠損は比較的少ない																																		
V		鉄筋全体にわたって著しい膨張性のさびが生じており、断面欠損がある																																		
鉄骨造（S造）	柱や梁など骨組に鉄骨を使用した建物または工法のこと。																																			
鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）	鉄骨の柱の周りに鉄筋を組み、コンクリートを打ち込んだもので柱や梁、床・壁を構成している建物または工法のこと。鉄骨と鉄筋コンクリートが協力した構造体として働く。																																			
トイレのドライ化	従来の学校のトイレとして主流であった、主にタイル貼りで排水溝が設置され水を流して清掃する湿式トイレを、ビニル系床材等を用いることにより最小限の水の使用で清掃する乾式トイレへ改修すること。																																			
特認校	通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認める学校。本市では、不登校等児童生徒の実態に配慮した教育課程を実施する。																																			

## な

延床面積	建物の各階の床面積の合計のこと。
------	------------------

## は

はつり	コンクリート等を削るなどの作業全般のこと。
バリアフリー	高齢者・障がい者等が社会生活をしていくうえで障壁となるものを除去すること。

P F I	Private Finance Initiative の略。公共施設等の建設や維持管理、運営等を民間資金や経営能力及び技術能力を活用し、効果的かつ効率的に社会資本整備を図る事業手法のこと。
P P P	Public Private Partnership の略。公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で、民間資本や民間のノウハウを利用し、効率化や公共サービスの向上をめざすもの。
複合化	本来は異なった機能・用途である建物を1つに集約して計画する手法。
福山市公共施設等サービス再構築基本方針	「福山市総合計画」に基づくまちづくりを進めていく上での公共施設等に関するマネジメントの方針を示すもの。
福山市公立就学前教育・保育施設の再整備計画	保護者や地域のニーズに即した教育・保育環境の実現に資することを目的として策定された、福山市立の就学前教育・保育施設の再整備と地域子育て支援を包括する計画。
福山市小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針	福山市のめざす子ども像である「福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども」を育成するため、子どもたちにとっての教育効果をより高めていくことを基本に、小中一貫教育の推進と望ましい学校教育環境を実現するための方針。
福山市総合計画	市制施行100周年後の新たなまちづくりに向け、だれもが心豊かにいきいきと暮らせ、夢と希望あふれる社会を実現するため、市民を始め、産学金官民といった多様な主体と共有する福山市の未来ビジョンとして示すもの。
福山市立学校施設耐震化推進計画	児童生徒が安心して安全に学べるとともに、災害発生時の地域住民の応急避難場所としての役割が果たせるよう、福山市立学校施設の耐震化を推進する計画。
保全	建物や設備が完成してから取り壊すまでの間、その性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けること。保全のための手段として、点検・診断・改修等がある。

## や

幼保連携型認定こども園	幼稚園と保育所の両方の機能をあわせ持つ単一の施設である認定こども園としての機能を果たす施設。
予防保全	損傷が軽微である早期段階から、機能・性能の保持・回復を図るために修繕等を行う、予防的な保全のこと。なお、あらかじめ周期を決めて計画的に修繕等を行う保全のことを「計画保全」という。

## ら

ライフサイクルコスト(LCC)	建物の計画、設計から建設、維持管理、解体、廃棄までの全期間に必要な費用のこと。
ルーフトレン	屋根・屋上に設置する雨水用の排水金物。雨水に伴う土砂や木の葉などの流入を防ぐ。